

出生数は急速に減っている  
厚生労働省の人口動態統計から

47~49年  
(万人) 第一次ベビーブーム

71~74年  
第二次ベビーブーム

22年 初の80万人割れ  
(速報値、外国人や国外で  
生まれた日本人を含む)

出生数

1947年 50 60 70 80 90 2000 10 20

2022年に生まれた子  
どもの数（外国人を含む出  
生数）は79万9728人だ  
った。統計のある1899  
年以降、初めて80万人を割  
り込んだ。厚生労働省が28  
日に公表した22年の人口動  
態統計（速報）で明らかに  
なった。▼3面川口金蔵も  
国内生まれの日本人に絞  
り込んだ出生数（概算）は  
6月に公表される。厚労省  
は、国内の日本人に限った  
出生数が76万人台になるの  
は、34年と見込んだ。それ  
より12年早く少子化が進む  
ことになる。

1982年の出生数は15  
1・5万人で、40年間では  
ほぼ半減することになる。

厚労省は、出生数の低下  
は複数の要因が絡み合って

# 出生数

## 80万人割れ

コロナで減少加速

22年統計

いるとした上で、若者の経  
済的不安定さ、コロナ下で  
の妊娠や出産、育児への不  
安が影響した可能性がある  
としている。

今回公表された速報値は  
22年1~12月に、国内で生  
まれた日本人と、外国人の

加速化もしている。出生  
数が120万人（98年）か  
ら20万人減つて100万人  
を切ったのは18年後だっ  
た。100万人（15年）から  
同じく20万人減つて80万人  
を割り込んだのは22年で、  
7年しかかっていない。

国立社会保障・人口問題

研究所の推計（17年）で  
は、国内の日本人に限った  
出生数が76万人台になるの  
は、34年と見込んだ。それ  
より12年早く少子化が進む  
ことになる。

子ども、海外で生まれた日  
本人の子どもの合計。21年  
と比べて4万3169人  
(5・1%) 減少した。  
岸田文雄首相は「異次元  
の少子化対策」について、  
3月末に政策パッケージの  
たたき台を示す方針。児童

手当の拡充を含む子育て家  
庭への経済的支援、子育て  
支援サービスの充実、育休  
制度の拡充や働き方改革が  
3本柱だが、どれだけ実効  
性のある政策を打ち出せる  
かが問われている。  
(久永隆一)